

# とんぐい村の こみ・すく通信

令和元年11月25日発行 第14号  
更別村コミュニティ・スクール委員会

## みんなの学校応援団 の活動を紹介<その10>

### 「模擬裁判」

11月20日。更別中央中学校では、3年生の社会科で、釧路地方検察庁から、川崎支部長検事、堀川検察広報官をお招きして「模擬裁判」の授業が行われました。こうした授業は今回が3年目になるそうです。



「コンビニ強盗致傷事件」を題材に、生徒が裁判官、検察、弁護士、被告人、証人などの役割を演じ、ロールプレイで裁判の仕組みについて学ぶ学習でした。

堀川広報官の進行で、生徒たちは用意された台本を読み上げ、起訴状の朗読、冒頭陳述、証拠調べの請求、証人尋問、被告人質問、論告、求刑と実際の裁判の流れを体験。傍聴人となったほかの生徒たちも、ワークシートにメモを取りながら、熱心に裁判を傍聴し、その後、3つのグループに分かれて「被告人は有罪か無罪か」を話し合いました。

話し合いの結果、それぞれ多数決で2グループが「無罪」、1グループが「有罪」という判決を下しました。

川崎検事さんの判断も「疑わしきは被告人の利益」という原則から「無罪」とのこと。中学生は正しい判断ができたようです。

その後、質問コーナーでも「1つの刑事裁判にかかる時間はどのくらい?」「裁判にかかるお金は?」など、活発に質問がありました。裁判員裁判制度も運用されていますから、中学生にはいい経験になりましたね。

### 「牛の学習」

11月21日。更別小学校の3年生が勢雄の濱口牧場を訪れ、社会科「牛の学習」をしました。



牛舎に入れていただき、ミルククーラーやベールカッター、自動給餌機械の「マックスフィーダー」なども見せていただきました。懐妊牛や仔牛の見学の後は質問タイム。

子どもたちからは「どんな機械がありますか」「搾乳は1日何回ですか」「牛に名前はありますか」「牛が逃げたことはありますか」など、たくさん質問が出ました。

猫もたくさんいましたが、牛の餌に集まるネズミを駆除する役割があること。犬にも狐を追い払う役割があることなども教えていただきました。

休みはなく、毎日2回搾乳をする大変なお仕事ですが、そのおかげで美味しい牛乳が飲めるということを学びました。

